

『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート
 第44号(2009年12月4日)「インドの牛乳屋さん」



インドの牛乳屋さん

今年放送されたテレビ朝日の番組「ロンドンハーツSP」のドッキリ企画から生まれた“50TA”こと狩野英孝(お笑い芸人)の自作曲『インドの牛乳屋さん』が大ヒットしたようです。その後なんと50TA名義の自作歌が40万ダウンロードを突破するなど若者から大好評のようで、ライブが開かれたり、CD化されたり、世間から注目されています。

ところで、「インドの牛乳屋さん」の歌詞の中で、「牛乳を届けるんだカルシウム不足な インド人へ・・・」というフレーズがあります。もちろん笑いを取るには結構ですが、果たしてインド人は本当にカルシウム不足なのでしょうか？

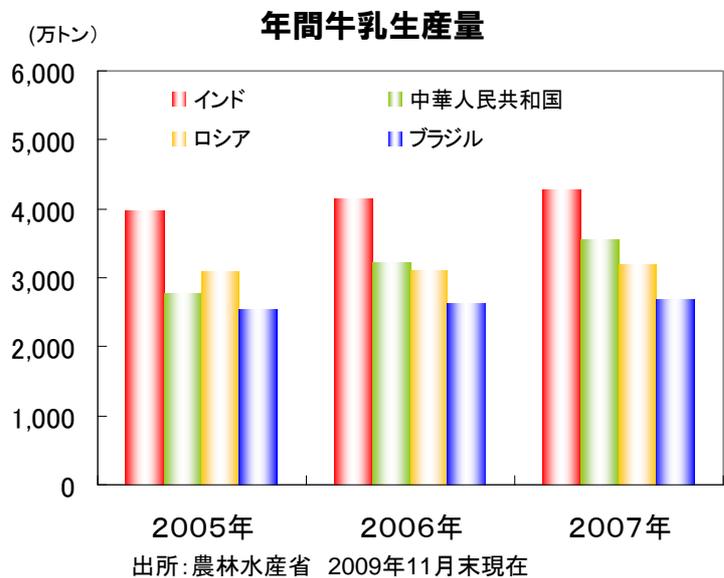


インド人はカルシウム不足？

インドは全国民の約8割がヒンドゥ教徒で、牛を神聖な存在としているため、牛肉を食べないことはもちろん、殺生も禁止されています。中には全く肉を口にしないインド人もいます。そのため、インド人は牛乳も飲まないと思われる方も多いのではないかと思います。

しかしながら、右のグラフにあるように、実はインドの牛乳生産量はBRICsの中でトップとなっており、そのほとんどはインド国内で消費されています。

ここ最近、今までの個人経営の牛乳屋さんがだんだん減ってきて、スーパーなどで購入するインド人が急速に増え始めてきました。この流れは今後も加速すると見込まれ、海外の大手乳製品メーカーはインド市場への参入を本格的に検討し始めているようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



付加価値の向上

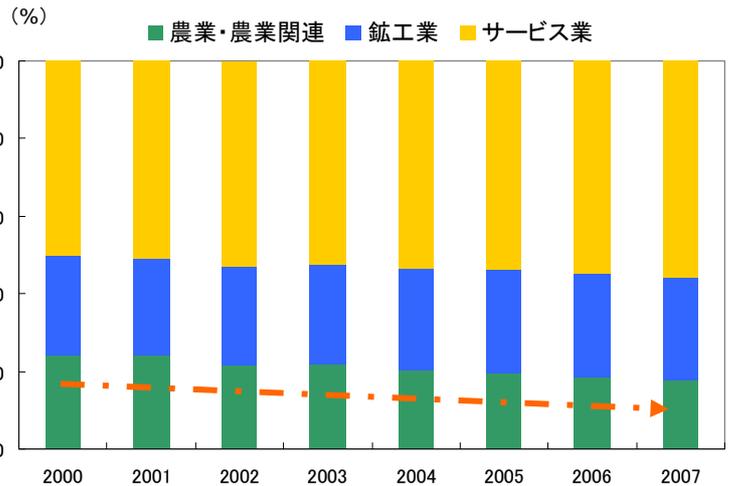
インドの牛乳市場は拡大していますが、GDPに占める農業の比率はだんだん低くなってきています。しかし、農業の規模自体が縮小したわけではありません。これは、消費市場の拡大に伴い、特にサービス業において新しいビジネスチャンスが急拡大してきたことが大きな要因となっています。

牛乳屋さんを例にして見てみましょう。従来の流通スタイルとしては卸売りである牛乳屋さんが酪農家から直接牛乳を仕入れ、樽で各家庭まで運び、柄杓で掬って分けたりします。値段は1カップ5円程度です。

しかし、インドの生活水準の向上に伴い、人々がより高品質かつ衛生的な牛乳を飲みたいというニーズが高まってきました。こうなると、海外の乳製品メーカーの出番です。先進国と同じように加工、消毒した高品質の牛乳をパックや瓶に入れ、スーパーに並べ、牛乳に高い付加価値をつけるようになりました。

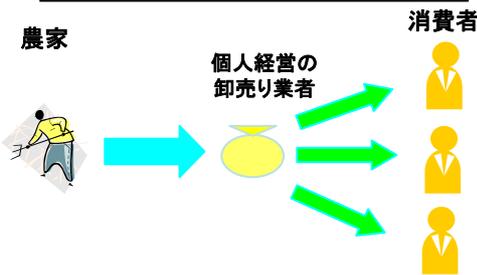
経済成長に伴い、より品質の高いものを求めるようになったインド市場はこれからも拡大し続けるのではないのでしょうか。「インドの牛乳屋さん」も変わっていくことに間違いがありません。

インドGDPの産業別内訳の推移



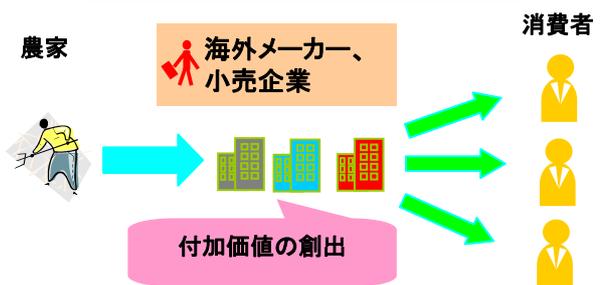
出所：インド中央統計機構 2009年11月末現在

従来のインドの農産物消費の流れ



イメージ図

最近のインドの農産物消費の流れ



*上記の図はインドの農産物消費のイメージ図となっております。

(編集後記) 私はインド料理屋さんでは、インドのヨーグルト「ラッシー」を必ず頼みます。激辛のインドカレーに「ラッシー」は、ほんとに良く合いますよね。

(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。